

# 前期計画期間における各分野の成果と課題

## ●生活環境、産業分野の成果と課題

- 全体目標の平均目標達成率は、96.2%で概ね目標達成している状況といえます。個別目標の平均達成率は82.3%で、その内訳は柱1 防災・地域防犯・交通安全関係が79.1%、柱2 消防・救急関係が118.0%、柱3 市民生活関係が50.2%、柱4 産業振興・雇用就労関係が73.1%、柱5 環境保全関係が66.1%、柱6 ごみ減量・処理関係が113.0%でした。

犯罪や災害への不安が少なく、消防・救急体制が整い、また、ごみ減量やリサイクルを取り入れた生活環境により、市民は安心・安全に暮らしている状態にあるものの、市民生活関係と環境保全関係の柱は、70%に満たない達成状況であり、今後のさらなる市民や市役所の取り組みが必要です。

- 主な成果は、次のとおりです。
  - ・自主防災訓練、地域防犯パトロール活動により、地域の意識が高まってきたこと。
  - ・消防・救急体制の充実強化が図られ、市民と共に講習会や訓練を実施することにより、災害活動に迅速、的確な対応ができるようになったこと。
  - ・戸籍の電算化により、窓口の待ち時間が短縮したこと。
  - ・いこまいCAR予約便により、交通空白地域の解消に向け前進したこと。
  - ・景気の落ち込みに伴い、中小事業者支援や失業者支援を行ったこと。
  - ・地球温暖化防止や環境問題に対する取り組みを市民に啓発し、市民の環境保全に対する意識が向上したこと。
  - ・ごみ減量57運動により可燃ごみの量が減ってきたこと。
- 今後の課題は、次のとおりです。
  - ・地域の防犯・防災機能が低下しないよう、地域力を向上させる必要があること。
  - ・消防の広域化やデジタル無線化など、さらなる消防体制の充実を図る必要があること。
  - ・市民が安心して窓口サービスを受けられるような体制を整える必要があること。
  - ・産業の活性化と観光客の誘客を図る必要があること。
  - ・環境に配慮したライフスタイル、ごみのさらなる減量・リサイクルを推進するため、市民一人ひとりの意識づくりをする必要があること。

## ●健康、福祉分野の成果と課題

- 全体目標の平均目標達成率は、119.4%で目標を達成している状況といえます。個別目標の平均達成率は80.7%で、その内訳は柱1の高齢者福祉関係が53.9%、柱2の子育て関係が82.2%、柱3の障害者福祉関係が55.1%、柱4の健康づくり関係が88.1%、柱5の保険年金関係が83.0%、柱6の生活支援・福祉活動関係が111.0%でした。

分野全体の達成状況は良好であるものの、個別に見てみると、高齢者福祉関係における「生きがいを持って生活を送ることができる環境整備」や障害者福祉関係における「障害者の雇用や就労支援」についての達成状況が低く、今後、さらなる市民や市役所の取り組みが必要です。また、子育て関係や健康づくり関係のように柱全体の達成状況が良くても、個々の指標の達成状況が低いものについては、他の分野との連携や個別の対応をしていく必要があります。

- 主な成果は、次のとおりです。
  - ・地域包括支援センターなどの関係機関と連携し、介護予防事業などの実施及び相談窓口の充実が図れたこと。
  - ・第2子育て支援センターを開設し、利用者増加への対応及び利便性の向上が図れたこと。
  - ・聞き取りにより障害状況に応じた障害者福祉サービスの提供ができたこと。
  - ・三種混合、BCGなどの予防接種、妊婦健康診査が、高い接種率・受診率を確保できたこと。
  - ・国民健康保険、後期高齢者医療などの福祉医療について、的確な給付の実施により、市民生活の不安軽減ができたこと。
  - ・民生委員、江南市社会福祉協議会などの関係機関と連携し、生活困窮者などの自立に向けての支援を行うことができたこと。
- 今後の課題は、次のとおりです。
  - ・高齢者が生きがいのある充実した生活を送れるよう、時代に即した活動支援を行う必要があること。
  - ・親が子どもを育てやすい環境整備を図り、子育て家庭に対する積極的な支援を行う必要があること。
  - ・障害のある人が、必要な時に必要な障害福祉サービスを受けることができるための支援体制の充実を図る必要があること。
  - ・健康診査、各種がん検診の受診率の向上を図る必要があること。
  - ・国民健康保険制度などの健全で安定した運営を維持するため、保険税の確保及び医療費の抑制を図る必要があること。
  - ・生活困窮者などの自立に向けて、経済的支援や生活支援等を充実させ、関係機関との一層の連携を図る必要があること。

# 前期計画期間における各分野の成果と課題

## ●都市生活基盤分野の成果と課題

- 全体目標の平均目標達成率は、114.6%で、すべての全体目標で目標値を上回っており、全分野の中で1番の達成率でありました。個別目標の平均達成率は83.7%で、その内訳は柱1市街地整備関係が77.6%、柱2道路関係が96.0%、柱3公園緑地関係が117.8%、柱4下水道関係が49.7%、柱5治水関係が50.0%、柱6住環境関係が103.3%、柱7上水道関係が83.5%でした。

道路や公園、水道施設などが整備され、安全な住環境が確保されていることから、市民は安心して暮らしている状態にあるものの、下水道関係、及び治水関係については50%前後の達成状況であり、今後のさらなる市民や市役所の取り組みが必要です。

- 主な成果は、次のとおりです。
  - ・江南駅周辺の道路整備をしたことにより、交通混雑が緩和されたこと。
  - ・広報等でPRしてアダプトプログラムの登録者数を増やし、環境美化に対する認識を高めることができたこと。
  - ・フラワーパーク江南の開園区域拡大により、市民1人当たりの都市公園面積が増えたこと。
  - ・新たに14.0haの区域を整備し、下水道を使える区域にしたこと。
  - ・効率的、効果的な治水対策の推進を図るため、第3次江南市総合治水計画を策定したこと。
  - ・民間組織と協働して建築確認を行ったこと。
  - ・給水収益は減少傾向にあるものの、職員数の削減を図り、健全で安定した水道事業の経営を行ったこと。
- 今後の課題は、次のとおりです。
  - ・中心市街地の基盤整備を進め、商店街等の活性化につながる施策を進める必要があること。
  - ・限られた財源において、計画的・効率的な道路整備を行う必要があること。
  - ・花いっぱい運動や花のコンクールを、より多くの人に参加出来る魅力あるものにする必要があること。
  - ・全国平均と比べると依然として大きく遅れている下水道普及率を向上させる必要があること。
  - ・第3次江南市総合治水計画の目標を実現する手法を具体的に考える必要があること。
  - ・耐震化の必要な木造住宅について、耐震化に向けて更なる意識啓発に努める必要があること。
  - ・社会情勢の変化や住民ニーズの高度化・多様化に伴い、引き続き健全で安定した水道事業の経営を行なう必要があること。

## ●教育分野の成果と課題

- 全体目標の平均目標達成率は、77.4%で概ね目標達成している状況といえます。個別目標の平均達成率は68.3%で、その内訳は柱1地域に開かれた快適で安全な学校づくり関係が54.5%、柱2将来にわたって活躍できる人づくり関係が43.3%、柱3生涯を通して能力を伸ばし、活かせる機会づくり関係が79.8%、柱4豊かな、創造性ある文化・交流活動の充実関係が79.4%でした。

学校教育については、学校補助教員や特別支援学級等支援職員を配置し、児童生徒が個々の学習状況にあった、きめ細かな指導や支援を行い、学校施設や設備の整備、学校の耐震化を前倒して実施したことにより、快適で安全な状態で児童・生徒が学習活動に取り組むことができているものの、平均達成率は55%以下の達成状況であり、今後のさらなる市民や市役所の取り組みが必要です。

- 主な成果は、次のとおりです。
  - ・中学校区を単位とした小中学校により、地域ボランティア活動やあいさつ運動などの啓発・情報交換・実践活動等を行ううえで学校、家庭、地域の連携を図ることができたこと。
  - ・事業所の協力による職場体験学習において、生徒が自分自身で進路を選択する能力の育成が図られたこと。
  - ・適応指導教室や心の相談員の配置により、いじめ不登校問題に対応したこと。
  - ・男女共同参画都市宣言を実施したことにより、広く市民に男女共同参画社会の推進を啓発していくきっかけができたこと。
  - ・国際交流事業については、緊急雇用創出事業を活用し、雇用相談員を雇用したことや、日本語ができない外国人に対し日本語教室を開設し、雇用を促進することができたこと。
- 今後の課題は、次のとおりです。
  - ・学校評議員制度などの充実や地域との連携を深め、情報公開を推進し、更に開かれた学校づくりの推進が求められていること。
  - ・いじめ不登校問題に関しては、学校・家庭・地域住民が連携して取り組む必要性が求められていること。
  - ・価値観や生活スタイルの多様化に伴い住民参加型の生涯学習活動が求められており、社会教育指導者の育成と活用が必要であること。
  - ・江南市国際交流協会の活動拠点「ふくらの家」が、相談などで多くの外国人が出入りし、施設自体手狭となっている。また、各種事業に対応できる支援員や相談員等の人材育成が急務となっていること。

# 前期計画期間における各分野の成果と課題

## ●経営、企画分野の成果と課題

- 全体目標の平均目標達成率は、61.3%と、あまり達成できていない状況となりました。個別目標の平均達成率は70.6%で、その内訳は柱1地域経営関係が72.9%、柱2行政経営関係が77.8%、柱3課税・収納関係が50.3%、柱4行政事務管理関係が58.4%でした。なお、柱5については目標が数値化されていないため達成度が計算できませんが、実績値が基準値を9.4ポイント上回っており、進展が見られました。行政経営において、「集中改革プラン」による経費削減に一定の成果が見られたものの、平均達成率が50%台となっている柱もあり、今後のさらなる市民や市役所の取り組みが必要です。
- 主な成果は、次のとおりです。
  - ・NPO・ボランティア団体数について、少しずつではあるが着実に増加していること。
  - ・「集中改革プラン」により、大きな経費削減と職員の削減ができたこと。
  - ・江南市戦略計画に基づく新しい行政経営を行うことにより、的確なマネジメントを行う仕組みが構築できたこと。
  - ・予算の枠配分を行い、限られた経営資源の中で、選択と集中により効果的で効率的な施策を実施できたこと。
  - ・市税について、コンビニ収納を導入したことにより、市民の納付機会の拡大を図れたこと
  - ・情報公開制度、個人情報保護制度について、効率的かつ円滑に業務が実施されたこと。
  - ・市広報やインターネットを通じて議会に関する情報発信を積極的に行ったことにより、議会活動がわかりやすく説明されていると感じる市民の割合が大きく向上したこと。
- 今後の課題は、次のとおりです。
  - ・公募型協働支援補助事業の採択数を伸ばすため、事業のPR方法や活動団体間の連携について考慮する必要があること。
  - ・スリム化した市役所が市民により良いサービスを提供できるよう、これまでの経費削減型の行政改革から、経営の質を高める経営改革にシフトしていく必要があること。
  - ・納税意識向上のための市民への啓発、及び、滞納処分の手法の調査・研究などにより、収納率向上を図る必要があること。
  - ・監査委員からの指摘事項が減少するよう、指摘、指導の強化に努める必要があること。
  - ・議会の傍聴者が増えるよう、傍聴席のバリアフリー化や傍聴規則の見直し等を検討する必要があること。